

三重県 事故ゼロプラン

事故危険区間重点解消作戦



1

三重県事故ゼロプランの概要

三重県の交通事故の撲滅に向けた新たな取り組み

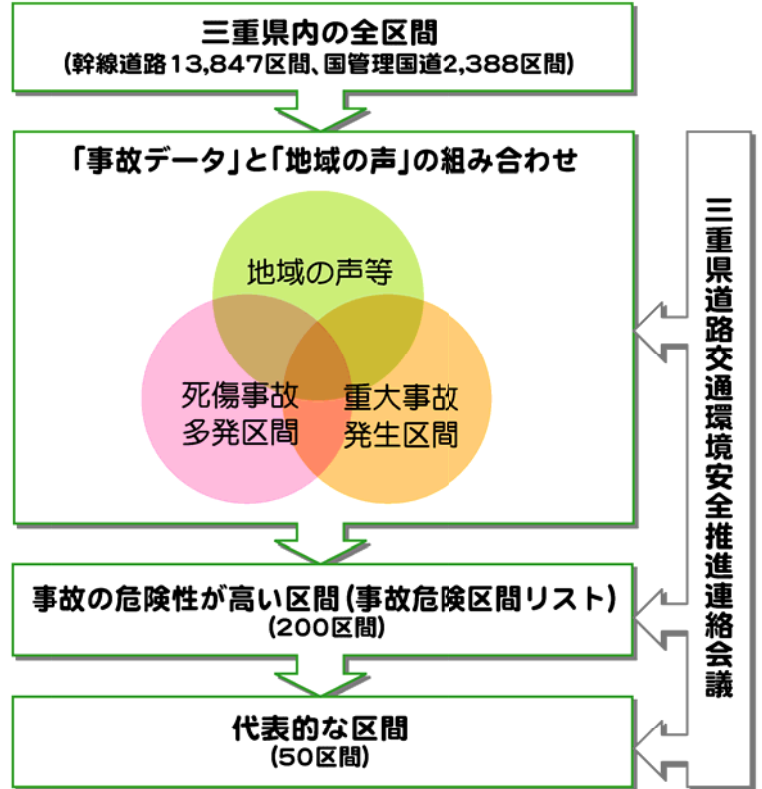
計画の概要

国土交通省および三重県警察では、交通事故対策の新たな取り組みとして、「三重県事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)」をスタートさせます。

本プランでは、利用実感にあう取り組みを進めるため、事故データと地域の声を組み合わせ、事故の危険性が高い区間(事故危険区間リスト)を200区間を抽出しました。

そしてその中で優先的に取り組んでいく代表的な区間(50区間)を抽出しました。

抽出した区間に対し、今後、事故対策を着実に実施していくことで、三重県の事故ゼロを目指していきます。

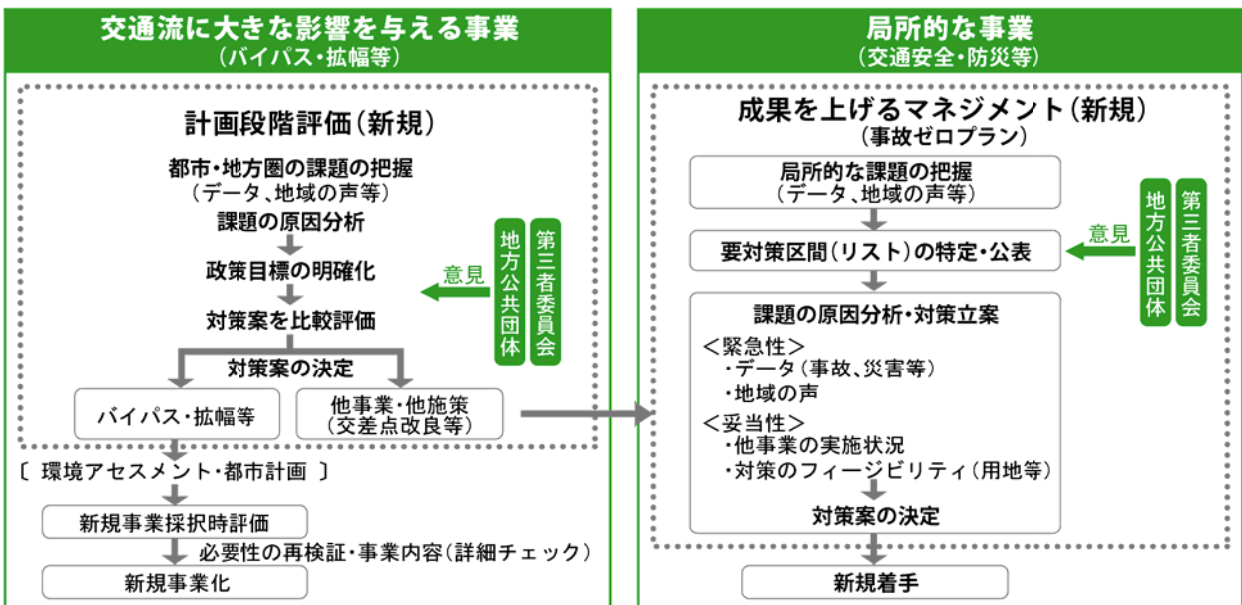


三重県道路交通環境安全推進連絡会議

参考 「政策目標評価型事業評価」の概要

国土交通省では、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るための新たな取り組みとして、「政策目標評価型事業評価」を導入することとしました。

事故ゼロプランは、この「成果を上げるマネジメント」を交通安全分野で進めていくための計画です。



政策目標評価型事業評価の導入に係る道路事業における取り組みについて(平成22年8月国土交通省記者発表資料)より作成

2

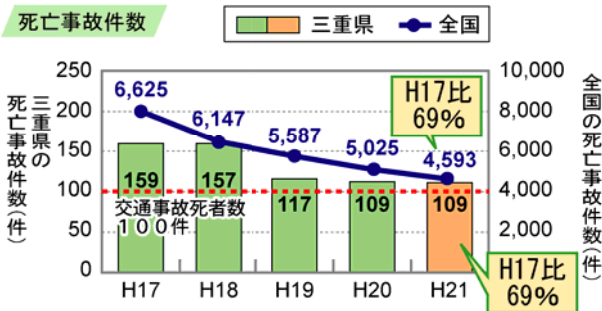
三重県の事故の状況

三重県事故ゼロプランの背景

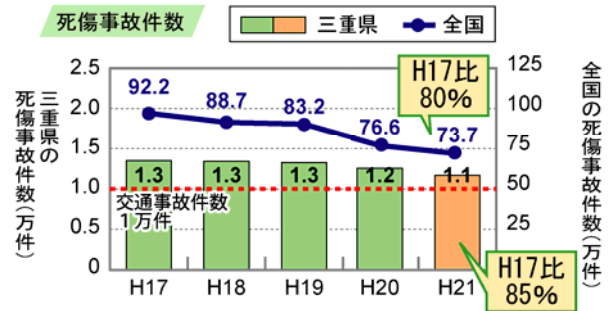
三重県内では、年間100名を超える方々が交通事故の犠牲になっており、人口当たり死亡事故件数は全国ワースト12位です。県内の事故は、幹線道路に集中する傾向があることから幹線道路の交通事故対策を進めていく必要があります。

■三重県における交通事故の推移

死亡事故件数は減少傾向にあるが、未だ死者数100人以上発生



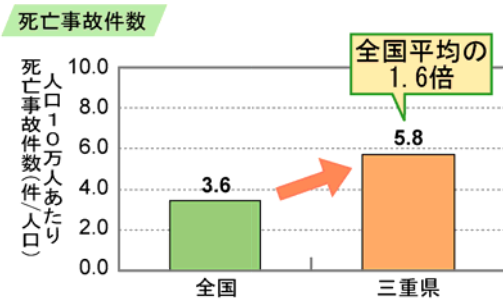
死傷事故件数は全国よりも減少幅が小さい



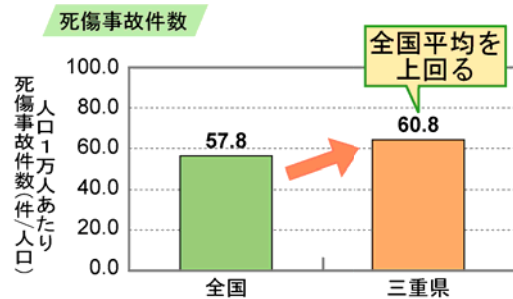
データ: H17~H21 交通統計 ((財) 交通事故総合分析C)

■人口あたり交通事故発生状況

<死亡事故件数> 人口10万人当たり約5.8人(全国ワースト12位)



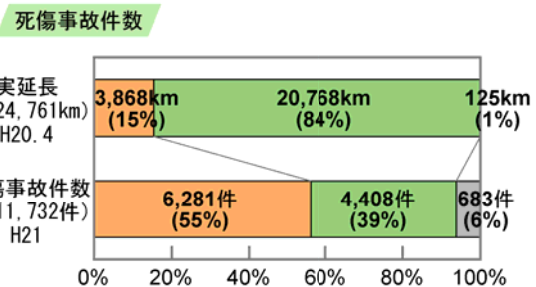
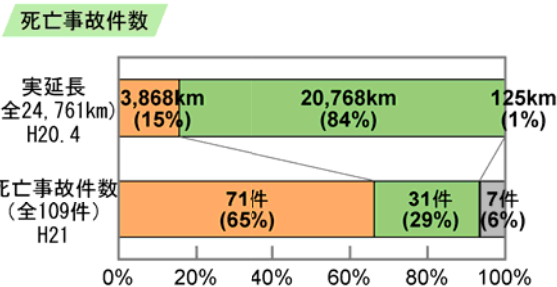
<死傷事故件数> 人口1万人当たり約61件(全国ワースト18位)



データ: H21 交通統計 ((財) 交通事故総合分析C)

■幹線道路への事故集中状況

三重県では、道路延長では2割に満たない幹線道路上で死亡事故の65%、死傷事故の55%が集中して発生



※1: 国道および主要地方道、県道をいう、※2: 高速道路および駐車場等路外の場所で発生したもの
データ: H21 交通事故統計年報 ((財) 交通事故総合分析C)、道路統計年報2009 (全国道路利用者会議)

幹線道路の交通事故対策を進めていきます

3

幹線道路の事故危険区間リスト

客観的で利用者実感の高い区間を抽出

三重県内の幹線道路のうち、国が管理する国道2, 388区間から事故の危険性が高い区間(事故危険区間リスト)を200区間抽出しました※³。

※3:平成22年度は国が管理する国道を対象に取り組みを試行していきます。

三重県道路交通環境安全推進連絡会議

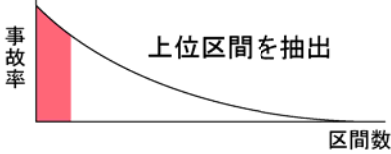
事故データの整理

▶ 死傷事故が多い区間

死傷事故件数 4件/4年以上
死傷事故率 上位区間

▶ 重大事故発生区間

重大事故件数 2件/4年以上
重大事故率 上位区間



地域の声を反映

▶ 自治体・道路利用者(団体、一般)アンケート指摘数 上位区間

自治体・道路利用者アンケート調査

自治体

一般(web)

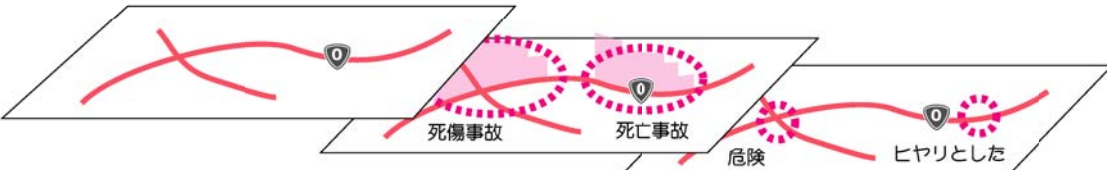
団体
・トラック協会
・バス協会
・タクシー協会



▶ 交通安全上課題のある箇所

県警からの指摘・合同点検による指摘・自治体からの意見

▶ 客観的かつ利用者実感を伴う区間を抽出

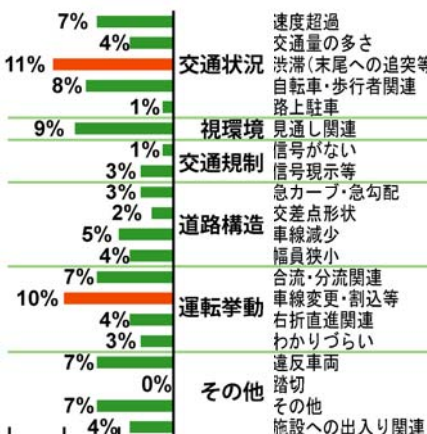


事故危険区間リスト(200区間)

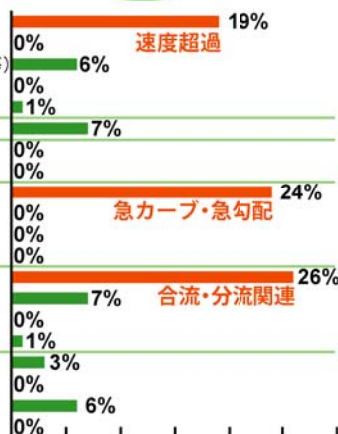
自治体・道路利用者アンケート結果

道路の種類に応じた意見が挙げられています。

一般道



名阪国道



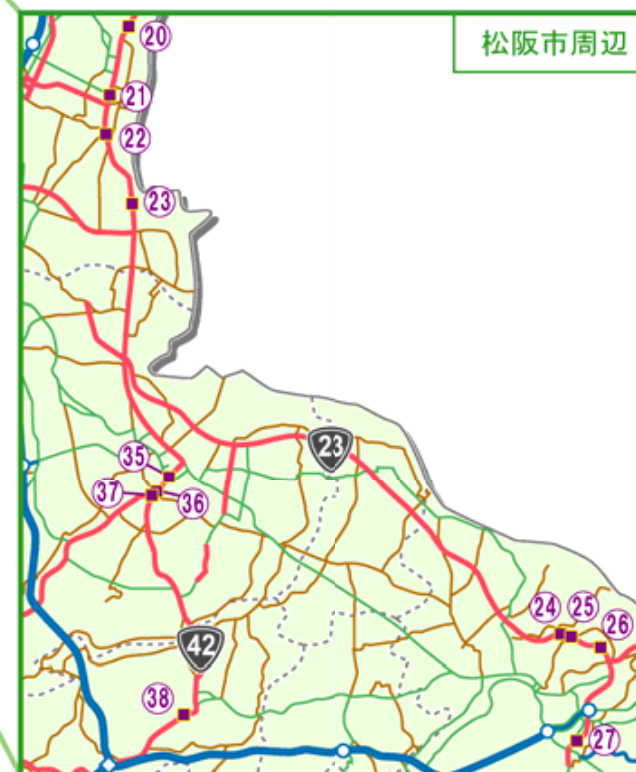
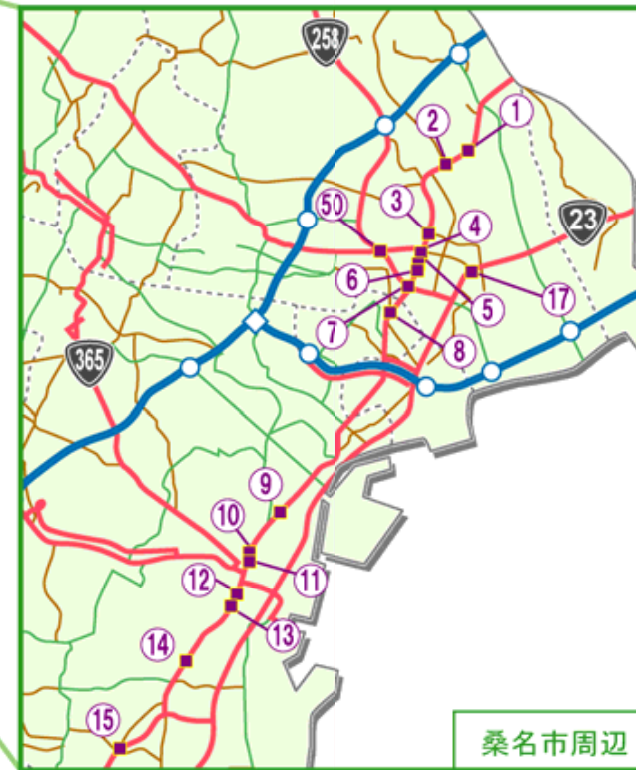
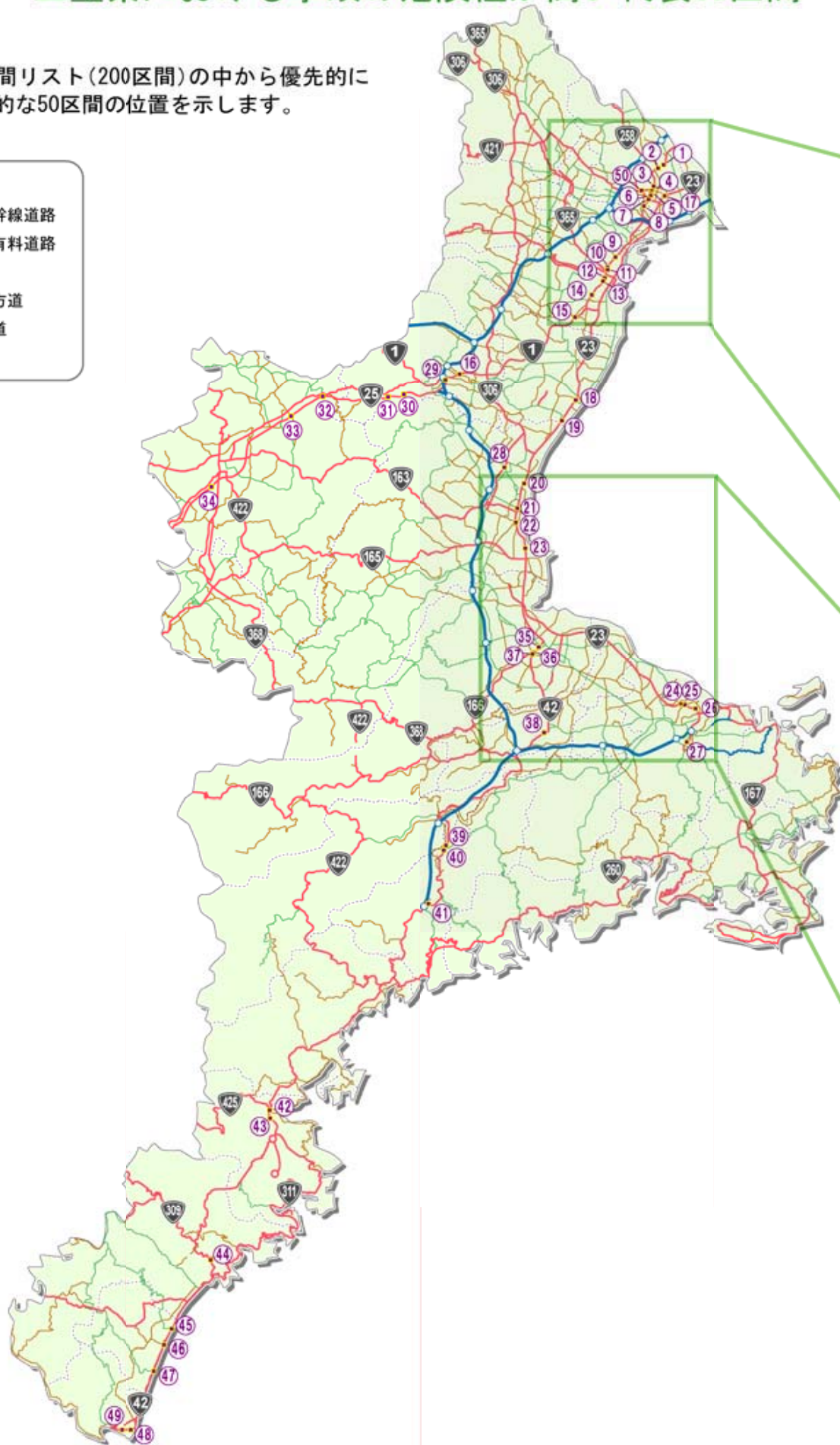
4

代表的な区間の位置図

三重県における事故の危険性が高い代表50区間

事故危険区間リスト(200区間)の中から優先的に
取り組む代表的な50区間の位置を示します。

- 凡例
- 高規格幹線道路
 - その他有料道路
 - 国道
 - 主要地方道
 - 一般県道
 - 行政界



代表的な区間(50区間)

番号	路線名	対象区間	交差点名
①	国道1号	桑名市長島町十日外面	伊勢大橋東詰交差点
②	国道1号	桑名市大字上之輪新田	中堤入口交差点
③	国道1号	桑名市中央町3丁目	中央町交差点
④	国道1号	桑名市相川町	相川町交差点
⑤	国道1号	桑名市東矢田町	矢田町交差点
⑥	国道1号	桑名市大字大福	八重垣町交差点
⑦	国道1号	桑名市大字安永	安永交差点
⑧	国道1号	三重郡朝日町大字綱生	町屋橋南詰交差点
⑨	国道1号	四日市市富士町	富士町交差点
⑩	国道1号	四日市市川原町	川原町交差点
⑪	国道1号	四日市市滝川町	滝川町交差点
⑫	国道1号	四日市市諏訪町	諏訪町北交差点
⑬	国道1号	四日市市諏訪栄町	諏訪栄町交差点
⑭	国道1号	四日市市日永東1丁目 ～四日市市日永4丁目	—
⑮	国道1号	四日市市小古曾東3丁目	内部橋北詰交差点
⑯	国道1号	亀山市野村2丁目	無名
⑰	国道23号	桑名市大字小貝須	地藏交差点
⑱	国道23号	鈴鹿市白子3丁目	白子3交差点
⑲	国道23号	鈴鹿市磯山2丁目	磯山駅前交差点
⑳	国道23号	津市栗真町屋町 ～津市江戸橋1丁目	—
㉑	国道23号	津市大門	三重会館前交差点
㉒	国道23号	津市大倉	大倉交差点
㉓	国道23号	津市高茶屋小森町	高茶屋小森交差点
㉔	国道23号	伊勢市御園町王中島	王中島交差点
㉕	国道23号	伊勢市小木町	小木町1交差点
㉖	国道23号	伊勢市田尻町	田尻町交差点
㉗	国道23号	伊勢市中村町	中村町交差点
㉘	国道23号	津市一身田大古曾	無名
㉙	国道25号	亀山IC	—
㉚	国道25号	越川大橋～関TN	—
㉛	国道25号	向井IC	—
㉜	国道25号	伊賀IC	—
㉝	国道25号	下柘植IC	—
㉞	国道25号	大内IC	—
㉟	国道42号	松阪市愛宕町1丁目	愛宕町西交差点
㊱	国道42号	松阪市大黒田町	大黒田町交差点
㊲	国道42号	松阪市大黒田町	大黒田町西交差点
㊳	国道42号	多気郡多気町平谷～ 多気郡多気町前村	—
㊴	国道42号	度会郡大紀町滝原	—
㊵	国道42号	度会郡大紀町滝原	出谷交差点
㊶	国道42号	度会郡大紀町崎	崎交差点
㊷	国道42号	尾鷲市末広町	倉ノ谷交差点
㊸	国道42号	尾鷲市古戸町	上野町交差点
㊹	国道42号	熊野市大泊町	—
㊺	国道42号	南牟婁郡御浜町大字志原	神志山交差点
㊻	国道42号	南牟婁郡御浜町大字下市木	—
㊼	国道42号	南牟婁郡紀宝町井田 ～南牟婁郡紀宝町輪殿	—
㊽	国道42号	南牟婁郡紀宝町輪殿	—
㊾	国道42号	南牟婁郡紀宝町輪殿 ～南牟婁郡紀宝町成川	—
㊿	国道258号	桑名市大字上野	上野交差点

<番号は優先順位を示すものではありません>

5

事故対策の取り組み

マネジメントサイクルにより、継続的に改善

抽出された各区分間については、PDCAによるマネジメントサイクルに則り、効果的な事故対策を継続的に改善していきます。過去の事故データや現場の状況等から事故要因を特定し、要因に応じた効果的な対策を実施します。対策後に、事故件数の減少など効果を評価し、必要に応じ、追加対策の検討・実施を経て、悲惨な交通事故の撲滅を目指します。

P 計画策定

事故要因を分析し、効果的な事故対策を立案します。

D 対策実施

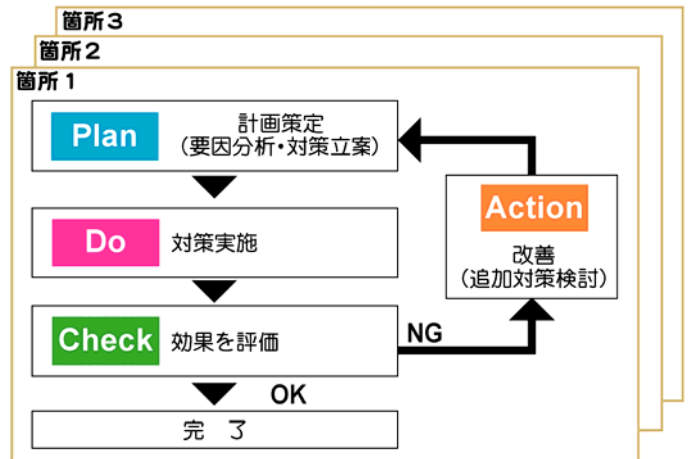
計画された事故対策を実施します。

C 効果検証

対策による効果を検証し、評価します。

A 改善

対策の効果が不十分な場合、事故要因を分析し、追加対策の検討を行います。



マネジメントサイクルによるPDCAの実施事例 <紀宝町成川地区>

Plan : 計画策定(要因分析・対策立案)

・「正面衝突」「追突事故」が多い

対象事故 類型	対策前 年平均件数 H8～H11 (件/年)	実施対策工
正面衝突	0.50	減速路面標示の設置
		高輝度区画線の設置
追突	0.75	減速路面標示の設置
		排水性舗装の設置

Action : 改善(追加対策検討)

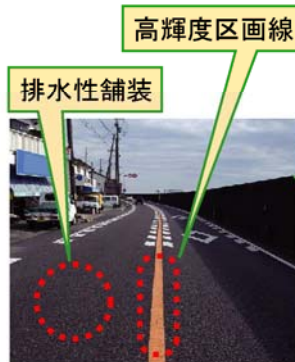
・「追突注意」の注意喚起看板の設置



追突事故が多い交差点部に対し、追突注意を促す看板を設置

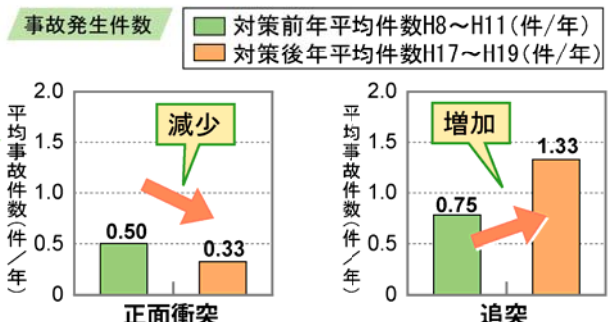
Do : 対策実施

- ・ 減速路面標示の設置
- ・ 高輝度区画線の設置
- ・ 排水性舗装



Check : 対策検証

・ 正面衝突は減少したが、追突事故は増加



6

事故対策の効果事例

これまでに実施してきた事故対策の紹介

国道23号 南玉垣交差点

交差点を改良し、追突事故が減少しました



対策内容

- 減速路面標示設置
- 右折導流帯の設置

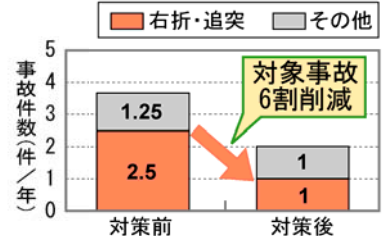
対策前 事故発生状況



対策後

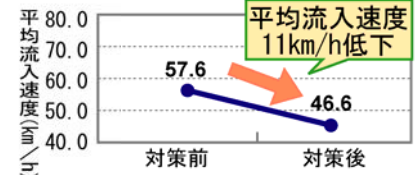


■ 対策前後の事故件数



※対策前: H16~H19の年平均事故件数
対策後: H21の事故件数

■ 対策前後の平均流入速度



追突事故、右折事故が減少
平均流入速度も低下

国道42号 滝原歩道整備

歩道を設置し、安全に通学できるようになりました



対策内容

- 歩道の設置

対策前



対策後



児童・保護者・先生の声

- 児童からは、
「綺麗な道を通り早くバス停に行けるようになった」
- 保護者からは、
「明るく安全になり近所への迷惑がなくなった」
- 校長先生からは、
「通学する児童は少ないが歩道ができ安全に通学出来るようになった」

と聞いています。

歩道の整備により
地域の安全な通行を確保

国土交通省 中部地方整備局

三重河川国道事務所 〒514-8502 津市広明町297

紀勢国道事務所 〒515-0005 松阪市鎌田町144-6

北勢国道事務所 〒510-8013 四日市市南富田町4-6

<http://www.cbr.mlit.go.jp/mie/>

<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisei/>

<http://www.cbr.mlit.go.jp/hokusei/>

<道路管理第二課> TEL (059) 229-2222 FAX (059) 229-2380

<管理第二課> TEL (0598) 52-5367 FAX (0598) 52-5370

<管理課> TEL (0595) 82-1312, 8403 FAX (0595) 83-1319

三重県警察本部

〒514-8514 津市栄町1-100

<http://www.police.pref.mie.jp/>

<交通規制課> TEL (059) 222-0110